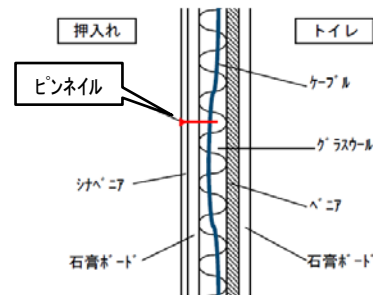


種別	工種	事例名	シート番号
その他	電気	ピンネイルによるコンセントケーブル損傷(漏電)	5-1

不具合事例・状況

住宅内の押入に布団を収納する際、間仕切りに衝撃を加えると分電盤内の漏電ブレーカーが作動した。
各回路をチェックしたところ押入間仕切り内に敷設しているケーブル(トイレ)の回路に漏電を確認。
壁内ボードを剥がしてケーブル状況を確認したところケーブルに押入ボード固定用のピンネイルが刺さった跡が確認された。

<断面詳細図>



原因

押入れ内仕上ボードを固定する際、ピンネイルによりケーブルを損傷させてしまった事が漏電の原因であった。但し、普段はコンセントは問題なく使用できる状況にあり、壁に衝撃を加えた際に瞬間的に短絡しブレーカーが作動する状況となった。

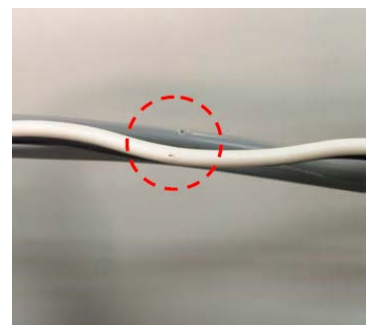
<ピンネイル写真>



対処方法

対象のケーブルを引抜きピンネイルの無い部分に改めてケーブルを敷設した。

<ケーブル破損写真>



再発防止対策

- ・間仕切り内のケーブルは緊張しないようにルーズ状態で固定(支持)を行う。
- ・特に壁内にグラスウールが敷き込まれる等ケーブルが固定されるケースでは関係業者と打合せを行いケーブルの損傷に対するリスクを共有する。
- ・自主検査(試験)を確実に行う。
- ・将来用手摺補強のあるエリアにはケーブルは敷設しない。

備考	参考文献:	制定	2020年3月1日
	参考メーカー:	改訂	